

# 令和6年度 課の運営方針書

環境生活部 リサイクル推進課

## 1 課の運営方針

### 【課の使命】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則った一般廃棄物の適正な処理(分別・収集運搬・処分)を実施するとともに、市民・事業者・行政が協働して、ごみの発生抑制・再利用・再資源化(3R)を推進することにより、循環型社会の形成を目指します。

### 【課の目標】

- ① ごみの発生抑制・再利用・再資源化(3R)のさらなる推進  
市民・事業者・行政及び関係団体などのあらゆる主体が、ごみの発生抑制などに協働して取り組むことにより、持続可能な社会の実現に向け、3Rの推進を図ります。
- ② 「環境館」を核とした意識啓発の推進  
リサイクルプラザペガサスの施設見学をはじめ、リユース品抽選会やエコフェスタ、リサイクルの体験講座などを開催し、来館者への3Rに対する意識啓発を行うとともに、市広報やホームページ、SNSの発信に加え、環境館の広報紙の発行等による情報発信の強化に取り組みます。
- ③ ごみ処理施設の適正な管理運営  
各所管施設の適正な維持管理と安定的・効率的な運営を行います。リサイクルプラザペガサスについては、今後の施設の延命化に向けた検討を進めます。また、平成30年度末に埋立終了した周南市不燃物処分場については、環境測定を引き続き実施することで適正な管理に努めます。
- ④ ごみ出しの負担軽減による市民サービスの向上  
粗大ごみや家庭ごみ搬入受付センターのウェブでの申し込みを推進するとともに、高齢者等のごみ出し支援による負担軽減を図るなど、市民サービスの向上を進めます。

### 【行財政改革への取組み】

- 業務スケジュールの共有化を進め、計画的かつ効率的に業務ができる環境整備を図ります。
- 粗大ごみ予約システムや家庭ごみ搬入受付センターの予約システムの稼働により、業務のDX化を推進します。
- 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画と施設分類別計画の計画期間を合わせるように策定することで、効率的な施設管理に努めます。

## 2 担当(係)の使命(果たす役割)

- (リサイクル担当) : 一般廃棄物の処理計画の立案及び進捗管理を行うとともに、一般廃棄物の減量化及び再資源化の推進に係る事業を効率的に展開します。  
(施設担当) : リサイクルプラザ、家庭ごみ搬入受付センター、不燃物処分場及びその他廃棄物処理施設の管理運営を適正に行います。  
(収集担当) : 一般廃棄物の収集運搬業務を効率的に実施するとともに、不法投棄廃棄物の発生抑制の啓発と回収処理の助言指導を行います。

## 3 課の経営資源

### (1) 課の体制

職員数	43 人	うち	正職員	29 人	・	会計年度 任用職員	14 人	人件費	正職員	208,974 千円	会計年度 任用職員	45,379 千円
-----	------	----	-----	------	---	--------------	------	-----	-----	------------	--------------	-----------

※R4職員平均給与( 7,206 千円)ベース

※予算計上額

### (2) 事業規模

歳入予算額	267,624 千円	歳出予算額	3,112,372 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	15 事業
-------	------------	-------	--------------	-------------	---------	-------

## 4 課の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	8 環境共生 1 低炭素・循環型社会の実現 4 3Rの推進と廃棄物の適正処理	市民・事業者・行政及び関係団体が協働して、ごみの発生抑制・再使用・再資源化に取り組み、ごみの減量化と再資源化を促進します。（市民一人一日当たりのごみの排出量 令和6年度目標：659g、リサイクル率 令和6年度目標：35%、最終処分量 令和6年度目標：2,807t） また、ごみ処理経費の削減を図るとともに、ごみ処理施設等の適正な維持管理と効率的な運営を行います。
2	8 環境共生 1 低炭素・循環型社会の実現 3 環境教育・啓発の推進	環境館を啓発活動の拠点として、体験を通じた啓発や情報発信による啓発を推進していくとともに、市内環境衛生推進団体の活動を支援し、連携した取り組みを展開します。 （環境館利用者数 令和6年度目標：5,000人、クリーンリーダー設置率 令和6年度目標：100%）